

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	法人本部で統一された理念・方針は、本部のホームページに記載している。本園では入園のしおり、重要事項説明書に理念・保育方針を明記し、新入園児説明会、進級説明会で説明しているが、どうしても都合が悪い場合には個別対応を行っている。職員に対しては、4月に全員参加で周知徹底を行っている。本部では今年度初めに理念の追加が行われており、職員には施設長から、レイモンドヴィレッジ開設によるソーシャルインクルージョンという新しいコンセプトの福祉総合施設を展開することとなった事を説明している。施設長は、機会あるごとにこの理念改定につき口頭で周知に努めているが、書面作成までには至っていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるような具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	レイモンドグループ60園(関東圏から沖縄まで)の園長会議(ZOOM)が毎月2時間その後続いてエリア会議として近隣の園長6名が1時間情報共有を行っている。保育のコスト分析や少子高齢化の検討結果等も分析してほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3		② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	毎月の財務諸表を確認すると共に、園長会議で得た各種情報を活用し、施設長が把握し解決している。課題が出ればリーダークラスの職員には公開し、ともに検討することが望まれる。		<input type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	中長期ビジョンについては本部で集約し毎年の計画時に見込む事で園側の負担を軽減するとともに、特にビジョンについては周知・徹底に努めている。		<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5		② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	レイモンドグループは、毎月全児童施設(全国で61園)園長Zoom会議を半日かけて行い、本部責任者も含めて最新の情報や資料も把握し検討している。		<input type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

保育所版 第三者評価調査結果報告書 【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	施設長は人事・労務・財政を統括して実情把握をしている中で、目下はグループリーダーに理解と協力を得て前進しようと努めている。グループリーダーの成長を望むと共にもう一歩共に参加しての検討場面も有って欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	事業目標のひとつである、地域貢献について毎週の園開放について全保護者にSNSで発信している。本園の事業改革についても全保護者に月1回でもSNSで周知・説明をし、関心を高めていって欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	CXグランプリを通して、保育の質の向上に対して職員間で共通理解を図っている。PDCAサイクルを効果的に各グループで推進して行く事を期待したい。第三者評価調査も6年前に受審している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	サービスの質向上には、実行してきた活動の見直し(評価)は必須のことであることを再認識の上、レベルアップに努めている。今回の第三者評価調査で得られた保護者アンケート結果を詳細に分析し、各グループ自身が前進する様、施設長の支援を期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	施設長のきめ細かい配慮と率先して行動を開始する点で職員の信頼度は高い。職務分掌表で明確になっている部分を職員が目に入る場所に添付し、不在の時には主幹が代理執行を行うことも明確化して欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会及び園長会で得た資料は、必要に応じて職員会議の周知している。
	施設長は、レイモンド園長会から各種情報を入手・共有する他、各種関係機関からの研修案内があれば参加し必要な情報は、職員会議で周知している。環境への配慮からSDG'sの環境整備に活動着手している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	保育の質の向上は、施設運営の核心であり、第三者評価調査の主目的でもある。職員は目標カードを作成し、年2回本人の目標設定を中心に園長面談し、一人一人にふさわしい研修の受講を実現するよう努めている。現状の課題把握とその分析について、もう一歩踏み込んで各グループの活動中心としながらも、トップの意向をもう少しリーダーシップを発揮する頻度を高めることを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	施設長は人事・労務・財政を統括して実情把握をしている中で、グループリーダーに理解と協力を得て前進しようとしている。グループリーダーの成長を望むと共にもう一歩共に参加できる場面も有って欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	園運営に必要な職員体制を単年度事業計画に人材や育成に関する方針を、重要事項説明書・運営規定表に方針を明示している。ホームページに採用情報を掲載記載するほか、就職フェアに参加し実習生受け入れの人材確保に努めている。		<input type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15		② 総合的な人事管理が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	園の期待する職員像を明確に入職時の新任研修、全体会議で周知している。職員の配置には本人の意向を確認して希望に添い、能力を発揮し向上できるように考慮している。職員の育成については、採用研修、1年目研修に続き、在任数年等による研修を定め実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	園の労務管理は園長が行い、勤務表で時間外勤務・有給休暇取得を毎月把握、確認して職員の就業状況を管理している。日々の健康管理チェックは年1回健康診断等を実施し、職員の心身健康管理と安全確保に努めている。園長は定期的に個別面談の機会を設け、職員が相談しやすい環境を整備している。職員同士で日常的に日頃の悩み等を話せるよう、年長者が積極的に話しかけ、お互いに声をかけやすい雰囲気づくりを心掛けている。希望休暇や個々の事情に配慮したシフト調整、育児、介護休暇制度等、ワークライフバランスに配慮した取り組みの充実に努め人材確保・定着を図り働きやすい職場づくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワークライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。
				<input type="checkbox"/>

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	職員の目標管理の仕組みが構築され、園独自の「目標達成シート」法人の定める個人目標を設定している。園の期待する職員像を明文化し職員は入職時の研修で学んでいる。職員は前年度評価を踏まえて目標を設定し、園長が目標の状況確認・達成度を自己評価して総合確認を行い、次年度の目標設定に反映している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18		② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	園が目指す保育を実施するために求められる職員像を明確にしている。研修計画は各職員の職位や担当、過去の研修実績、職員の希望等を総合的に考えて研修計画を作成し、各職員のスキルアップに繋げている。研修受講後は会議等で研修報告をして、職場全体での資質向上に繋げている。園内研修や自主研修は評価・反省を基に次年度に計画を立てている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19		③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	職員一人ひとりの知識、技術水準、経験を把握して職員配置を行っている。園内・外部・キャリアアップ研修等の研修機会を設け、職員の職務や必要とする知識・技術に応じた教育研修を実施している。職員の研修受講後はレポートを提出してもらい、園長が記載内容を確認して研修の成果を把握している。階層別研修や役職者に応じた研修を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関する専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	実習生・専門学校・大学の受け入れがあり、マニュアルを整備している。市、主催の「保育実習指導者育成研修」を受講し、実習生を指導する各クラスの職員に対して主幹が丁寧に指導を行い、実習目的・実習内容を周知している。実終了時の反省や取り組みを、更に高めて行く事を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	法人のホームページを活用し、保育理念や運営方針、保育の内容や活動、特色を公開し、社会や地域に向け理解が深まるよう取り組んでいる。自治会での子育て保育支援活動を通じて保育所の将来を見据え、目標を地域に向け発信している。苦情相談体制を園内に掲示し、苦情や要望の受付から解決改善までの経過及び解決を記録している。活動報告を何らかの方法で地域へ公開する事を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22		② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
	監査法人による定期的な監査支援を受け、指導事項があれば全体会議等で共有し話し合い、事業会計状況を確認しホームページ等で結果を公表している。活動報告を何らかの方法で公開する事を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input type="checkbox"/>	エ 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【共通評価基準】

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域との関わりについて市のガイドラインを基に、基本な考え方、取組を事業計画に明示している。園庭開放や青空保育等を実施して、子ども達が地域の人と交流する機会を設けている。職員会議などで取組状況や地域親子の現状を伝え共有している。さらなる地域との交流する機会に取り組むことを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	中学校、高校の職場体験を受け入れ、受け入れは職員会議や掲示で職員に知らせ、園全体で受け入れを整えている。保育に入る前にはオリエンテーションを行い、関わる際の心構え、注意点を伝え保育に入ってもらっている。体験後は学生から声を聞き、助言を行うよう努めている。受け入れ体制を更に高めて行くことを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	小学校、行政機関、子ども家庭センター、医療センター等と連携を図り問題に対して情報共有を行っている。虐待や子どもの人権侵害が疑われる事例があれば児童相談所や自治体と連携を図り、適正な体制を整えている。会議や研修の場で職員への理解を得られる取り組みを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input type="checkbox"/>	カ	家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通じて、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。(保育所)
	園内行事に地域の保護者・未就園児・小学生等が参加できるよう取組み、子ども達が交流する機会を設けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。(保育所)
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動(地域の子どもの育成・支援、子どもの貧困への支援等)を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
	園に隣接し地域会議、保育園の園長会議への参加、民生委員との定期的な情報交換、自治会への参加をし、関係機関との連携や活動に努めている。事業計画に一時保育事業、地域の子育て支援を行う事業活動を明示し職員間で共有し話し合い、保育内容の改善に努めている。災害時の地域支援への取組を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【共通評価基準】

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	4月の年度当初には、法人「檸檬会」がめざす理念「子ども一人ひとりの尊重」について、全職員へ伝える場を設定している。また、日常的には研修会や会議等の場で、理念や方針に基づいた保育・養護が実施されているかを吟味する機会を設けている。とりわけ、保育をマネジメントし、その質を高めようとする研修には全職員の参加を義務づけ、実践の質の向上を図っている。本園は豊かな自然に囲まれており、農園をはじめ、自然環境を生かした活動を展開している。こうした活動を通して「生き物を大切にする気持ち」や「友だちを大切にする気持ち」を培う保育を実践している。今後は、国際性豊かな長浜の「地の利」を生かし、異文化理解や相互扶助の精神を培う取組にも力を入れてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 規定・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。
	子どものプライバシー保護や利用者の権利擁護に関わるマニュアルを完備し、日頃の保育実践を進めている。4・5歳児の身体計測は男女別を実施し、パーテーションの活用など、施設面の配慮も欠かしていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子ども・保護者にプライバシー保護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	ホームページ・インスタグラム・フェイスブックを活用し、保育園の概要を分かりやすく紹介している。また、カラー印刷を施したパンフレットでの紹介にも力を入れている。年度途中での入園希望者も多く、施設見学等の希望に対しては、その都度、個別に対応をしている。今後は、本園の保育情報をさらに広く提供できるよう広報活動に一層の工夫を加えてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	保育内容等の変更があったときは、「キッズアプリでの配信」「文書配布」「園内掲示物」等、各種の手法を駆使して周知徹底を図っている。それぞれの伝達方法の選択については、緊急性を要する場合はキッズアプリを、重要性が高い場合は紙媒体によるお知らせを行うなど、各媒体の良さを生かした方法を選択している。また、外国籍園児家庭には、片仮名ルビ記載やローマ字表記などの工夫を加えて伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	転園先(元)の転出入手続きが完了するまで、本園の園児として扱い、事務手続きがスムーズに進むよう配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	利用者の満足状況を把握するため、各種行事を実施した後は、必ずアンケート調査を実施し、満足度分析を行っている。また、対面調査としては、年2回、保護者面談を実施し、直接、保護者の意見を聞く機会を設けている。いずれの調査でも、園内検討委員会を立ち上げ、後の保育活動に生かせるよう組織体制を整えている。しかし、今回実施した保護者アンケート調査では、保護者に十分理解を得られていない項目も散見された。今後は、そうした声なき声にも耳を傾ける取組を進めてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【共通評価基準】

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情の申し出やその解決の仕組みについては、「保育のしおり」や「こども園案内」パンフレットに明記したり、玄関フロアに掲示したりするなど、分かり易く周知している。また、意見箱を常設し、保護者からの意見・要望を広く聞き取る体制を整えている。匿名を希望される場合は、本部への直接投稿も可能となっている。保護者からの意見・要望があった場合は、担任や主任・園長が対応している。要望等の受け入れ状況については、プライバシー保護に配慮した上で、可能な範囲でホームページ上に公開している。昨年度は、1件の要望が寄せられ、その概要がホームページ上で紹介しているが、今後は、さらに丁寧・親切的な対応を期待する。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	面談室を設置し、保護者のプライバシーに配慮した相談活動を充実させている。今後、この取組の一層の充実を期待する。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすい意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	園に意見・要望が寄せられた時は、園長のリーダーシップのもと、迅速・丁寧な対応がとられている。事案発生と同時に担任は保護者から丁寧な聞き取りを行い、主任・園長へ報告する。その際、保護者の声に対しては、誠実に真摯に向き合うことがどの職員にも徹底されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	一方、保護者からの意見・要望は千差万別であり、解決に至る過程も一様ではない。マニュアル通りに進むことはまずないといえる。今後は、こうした実態をしっかりと把握し、マニュアル改善に向けた取組を積極的に進めることを期待する。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
			<input type="checkbox"/>	カ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	職員が、事故やヒヤリハット事案に遭遇した場合は、発見者(職員)が報告書を作成し園長に提出している。園長は提出された事案について、事故発生要因の分析を行い、改善策・再発防止策を示し、職員へ周知徹底している。また、全職員の協力体制のもと、月1回、備品等の「安全点検活動」を実施し、リスクマネジメントを意識した活動を展開している。園庭の砂場や遊具の安全性は、こうした活動によって担保されている。しかし、室内の備品の整理状況には、やや乱雑な面が散見される。防災面からも整備状況の再チェックを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	看護師は、感染症対策マニュアルに準じて外部研修に積極的に参加し、最新の情報を入手して職員会議で報告するなど、職員への周知徹底を図っている。同時に、保護者には、毎月発行する「保健だより」に、細菌およびウイルスによる感染症予防対策についての記事を掲載し、健康維持・増進の重要性を広く呼びかけている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
	玄関ホールには検温器を常設し、園施設への入園に37.5℃以上の体温を検知した場合は、別室にて再検温と身体状態の観察を行うなど、感染症拡大について細心の注意を払っている。しかし、今日、保育現場では、複数の感染症が同時流行している。こうした実態のもと、更なる体制整備を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	防災マニュアルを基に、火災・地震・洪水・防犯に対応した避難訓練を年間行事計画の中に位置づけ、毎回、確実に実施している。特に、消防署や警察署との連携を図った訓練では、地域や保護者の参加も促し、実践さながらの訓練としている。また、玄関横スペースには防災備蓄用品が完備されており、緊急事態の発生に備えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【共通評価基準】

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
保育業務内容は、項目ごとに分かり易く文書化し、実施マニュアルとして纏めている。中でも「子どもの尊重」「プライバシーの保護」「権利の擁護」および「各種感染症対策」については、職員研修の最重要項目として位置づけている。本園の特色ある保育活動として、発達段階に応じた造形活動を挙げることができる。今後この活動の一層の充実を期待する。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
実施方法の検証・見直しについては、担任の日々の振り返りと、主任・園長からの指導・助言の相互作用で行っている。時に必要に応じて本部へも報告し、法人全体としての改善に繋げている。今後もこうした活動の活性化を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画作成の責任者を設置している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
「法人の保育方針」「長浜市の保育指針」「こども園設置地域の環境・要望」等を吟味するなど、幅広いアセスメントを実施した上で全体的な実施計画を作成している。さらに園長は、この全体計画をもとに、各担当保育士を指導し、年間保育計画・月計画・週計画・日計画を作成し保育実践の充実を図っている。一方、これとは別に、一人ひとりの「児童票」を作成し、個々の園児の「生活の記録」や「発育・発達の記録」等を把握、個に応じた保育が展開できるよう努めている。特に、配慮を要する園児については、保護者の思いや要望を大切にしながら、市の巡回相談員や専門機関からの助言を生かしながら、日々の園生活が充実するよう手厚い配慮を施している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の作成にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
日々の実践の振り返りは、各担任が「生活記録」や「日誌」に反省事項を記述することで進めている。園長や主任は、その記述に、「職員を育てる」という観点から指導・助言を加えている。園経営全体の評価・分析は、こうした取組を積み上げることで改善の方向性を見だし、次の経営・指導計画の作成に繋げている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。(保育所)
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
「児童票」「個別の指導計画」「個別の支援計画」等、保育活動に係る関係書類は、園長・主任が毎月、記述内容を点検・確認し、的確な指導助言を実施している。日々の昼礼、職員会議等では、各クラスの子どもの確かな情報を共有し、今後の指導に生かしている。延長保育等、担当者が替わるケースでは、より丁寧な情報伝達に努めている。今後は、コンピューターネットワークの更なる活用を図り、園内の情報共有を迅速・確実に行えるよう努めてほしい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
			<input type="checkbox"/>	カ	コンピューターネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【共通評価基準】

45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	<p>個人情報保護規定を業務マニュアルの中にしっかりと位置づけ、園長が管理責任者となり管理・運営に当たっている。個人情報が記入されている書類はすべて、施錠できる専用ロッカーに保管し、日々、施錠状況を記録する帳簿で管理している。</p> <p>年度当初には、職員のみならず保護者向けにも、園児たちの顔写真など、個人情報に関わる情報の取り扱い方法について、周知・徹底する研修活動を実施している。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。
全体的な計画は施設長が行って、法令関係、保育理念や方針、社会的な責任(子育て支援・地域支援や連携)外部人材、地域人材の活用等万全を期している。ただ本部の理念追加が本年度初めに発生したが、見直しの修正は行われていない。外部人材・地域人材の活用では、体操教室と記入しているところがサッカー教室に変化しており、定期的な見直しを実施してほしい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。
			<input type="checkbox"/>	エ	全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している
			<input type="checkbox"/>	オ	全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的な計画の作成		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
子ども達が使用する玩具や家具は、使用前にはチェックし消毒して安全なものを使用する様努めている。乳児クラスの部屋には床暖房を設置し、心地よく過ごせる快適な環境を整備している。室内では温度計、湿度計を設置し、保育者は、常に確認し調整している。換気も定期的に行っている。0・1歳児の手洗いやトイレについてはそれぞれ高さを考慮して設置し、一人一人自分でできる子、出来ない子には保育者が支援に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
子ども達が使用する玩具や家具は、使用前にはチェックし消毒して安全なものを使用する様努めている。乳児クラスの部屋には床暖房を設置し、心地よく過ごせる快適な環境を整備している。室内では温度計、湿度計を設置し、保育者は、常に確認し調整している。換気も定期的に行っている。0・1歳児の手洗いやトイレについてはそれぞれ高さを考慮して設置し、一人一人自分でできる子、出来ない子には保育者が支援に努めている。子どもの気持ちに沿った関わりを進めていくことを期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input type="checkbox"/>	オ	子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input type="checkbox"/>	カ	せかさ言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
平屋造りの整った環境の中で、子ども達はのびのびと活動している。2歳児クラスでは、給食前のトイレ指導や手洗い等一人ひとりに優しく寄り添い援助をしている。乳児組の午睡コーナーも、照明等工夫してあり落ち着いた環境が整っている。年に2回子どもたち一人ひとりの生活習慣(食育・昼寝・排便・着脱等)の細かな項目を評価し適宜対応している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【内容評価基準】

5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
各クラス、一年間のテーマを決めて個性ある活動を展開している。3歳児クラスでは、『野菜と生き物』という活動目標に向け、ジャガイモの栽培方法をプランターと土嚢袋に分け収穫量を比べたり、ジャガイモの芽の出方や成長を水栽培で観察している。新聞紙で人参や大根作りにも挑戦していた。幼児組では、それぞれ各クラスでカタツムリやメダカ等を卵から飼育し、生命の大切さを学んでいる。サッカー教室では、指導者の先生の指示を守り、足でボールを操りながら楽しんでいた。『よろしくお願ひします』『ありがとうございました』という大きな声の挨拶がどの子ども達からも聞こえた。5歳児クラスでは、『山の音楽家』をピアノ伴奏に合わせて、カスタネット・鈴・タンバリンの楽器を使い分け楽しい歌声が響いていた。乳児組は、参観日の週でもあり、2歳児の保護者の方々も園庭で子ども達のボール遊び等見守っていた。市民農園での野菜作りでは、農場の方々から指導していただいたり、一緒に作業をし交流を図っている。来年度は地域のお祭りで、おみこしに参加する計画がある。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
7人の0歳児が在籍している。職員間で育児担当制を取り入れ、どの職員でも対応できるよう個々の情報を共有・把握している。昼寝時には、SIDSチェックを5分おきに確認している。連絡帳には、その日の子どもの様子を記録し保護者と連携ができています。抱っこからひとり歩きができる子ども迄、それぞれにふさわしいコーナーに導き、コーナー保育の特性を生かした対応に努めている。誕生会では、皆で祝い手形をとってもらったり、絵本の読み聞かせの場面もある。室内で滑り台をして体を動かし、十分に遊ぶ満足している子ども達が見られる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
			<input type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
1歳児では、食事時間に自分で好きなものを取りに行く子どももいれば、保育者に任せる子どももいるが、一人一人の好みを尊重する場面がみられる。月齢に合わせてブロックや玩具などを選んで遊んでいる。園庭で鬼ごっこをし、異年齢児とも砂遊び等をして晩秋のもとで楽しく過ごしている。廊下には、メダカ・どじょう等飼育し生物の生き方や命についても感じる機会となり保育者は、一人一人に寄り添い個々の気持ちを受け止めてゆくりと対応している。一人一人に良いことが見つかった際には、連絡帳や降園時に直接連絡することを期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			<input type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
保育者は、子ども達が受け身ではなく、自分で考えて行動できるように見守っている。3・4・5歳児は、月1回英語教室を実施している。講師先生が子ども達が集中できるよう、リズムカルにわかりやすく指導している。計画していた茶道教室も定期的に実施してほしい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
障がいのある子どもの状況や保護者の思いに配慮した「個別の支援計画」を作成するとともに、保護者との面談を重ね、園児の成長過程を園と保護者が共有している。また、保育の充実を図るため、障がいに応じた加配保育士を配備するなど、人的支援も手厚く施している。市の巡回相談員、療育センター職員、言語聴覚士等、障害福祉関係機関との連携や指導・助言を受け、園児や保護者に寄り添った支援の充実を努めている。職員は、「障がい児を一人にしないこと」「常にそばにいて寄り添うこと」「周りの園児への働きかけを充実させること」を申し合わせ、障がいのある者もない者も、誰もが居心地の良い環境の創造に向け、日々努力を重ねている。今後も、こうした丁寧な対応がより一層充実していくことを期待する。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。

保育所版 第三者評価調査結果報告書 【内容評価基準】

10	⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	長時間保育に係る留意事項を業務マニュアルの中に位置づけ、スムーズな運営が出来るように配慮している。特に、職員間の引き継ぎでは、職員の勤務条件との関わりから細心の注意を払い、①早番職員は、「延長保育名簿」に引き継ぎ事項を記入する。②遅番職員は、引き継いだ内容を確実に保護者に伝達するとともに、伝えた事実を記録し押印することで、保護者への伝達漏れを防ごうとしている。また、園児への配慮としては、子どもが感じている寂しさを真摯に受け止め、心に寄り添う対応ができるよう心がけている点をあげることができる。しかし、保護者アンケートでは、「個々の対応にばらつきがある」と感じる声が寄せられている。今後の改善を期待する。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引き継ぎを適切に行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	小学校への就学をめざし、「5・5交流」を実施したり、栽培活動を共にしたりして「生きる力」を培っている。教職員も、こども園・小学校間を相互訪問し連携を深めている。今年度は、「自分の思いを人に伝える力」（コミュニケーション力）の育成を共通テーマに据え、地域一丸となった取組を進めているが、今後は、保幼小中連携を一層大切にしてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	年間保健計画をもとに健康診断を行い、毎月の身体測定を定期的実施し記録している。登園時には、玄関に設置している体温計で測定し保護者からは、健康状態も聴取している。異常がある場合には、主幹や看護師に報告し指示を受けている。けがや事故が発生し、医師の受診を受ける場合は、看護師・担任・主幹のいづれかが付き添い保護者に素早く連絡をとる体制を取っている。保健だよりにより毎月発行し、保護者に感染症などについての注意点等も知らせている。乳幼児突然死症候群については保護者アンケートの満足度は42%となっている。現場では5分ごとにチェックをしているのに保護者には理解されていないので、必要な情報提供が速やかに行われることを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子ども健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	健診結果は、キッズプラスで保護者へ報告している。年に1回は、歯科医師から歯磨き指導を受けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギー疾患のある子どもは、受診して定期的に医師の指示をうけている。食事については、間違いがないように献立表を基に保護者・担任・調理員との連携をきちんととっている。給食時には、アレルギー対応のガイドラインをもとに、トレーの色を変えたり、となりの子どもとの配置や距離にも配慮している。除去食が必要な3歳児は、食事が終わるまでそばで保育士が見守っている。保護者アンケートによると、アレルギーや障がいのある子どもに対する満足度が65%と三分の一が理解されておらず、大至急対応が望まれる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。

保育所版 第三者評価調査結果報告書

【内容評価基準】

A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
<p>献立は、レイモンド本部で作成したものを基本に、行事食や季節の食材等アレンジし工夫している。夏の野菜栽培が盛んな時期には、子ども達が育てた『きゅうり・オクラ・トマト』などを給食に使用している。食材は子ども達が食べやすいように丁寧に切り揃え、味付けも酢やカレー粉などを使用し工夫している。カツオや昆布の出汁の効いた薄味で美味しい心のこもった給食になっている。子ども達も給食時間を楽しみにしており、好き嫌いも少なく配膳された給食の残量はほとんどない。2歳児までは、各教室で給食を食べるが、3歳児から食堂ホールでの給食となる。コロナ禍からは、衛生面を考慮して、給食室で汁物以外は皿に小分けをして提供しているが、今後以前のようパイキング形式に戻し、子ども達が自分で食べられる量を盛り付けるような方向にしてい予定である。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
<p>毎日の給食は、マニュアルに従って実施している。検食は、園長が行っている。毎月郷土料理を取り入れ、他の地域の料理を楽しんでいる。3歳児は、どの子もスプーンとフォークを使い分け、綺麗に食べ切っていた。食べ終わった子から、食器をきちんと配膳台に返す習慣も身につけている。ランチルームでも、おかわりをしている子ども達が多く見られた。調理スタッフは3名でチームワークを大切に日々の作業をしている。中でも0歳児の離乳食の様子等職員との連絡を取り合うよう心がけている。月1回の給食会議と月2回の職員会議には参加し情報交換の場としている。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
<p>全員の子ども達が連絡帳を使用している。保育参観や年2回の個人面談(2回目は希望制)を実施し保護者の理解を得るよう努めている。送迎時の保護者との機会を、更なる情報交換の場として活用を期待する。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築く取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
<p>玄関前の廊下には、『レイモンドダイアリー』コーナーを設置し、保護者が毎日の各クラスの活動の様子がわかるように写真入りの記事を掲載している。『苦情解決の仕組み』の流れがわかるポスターも掲示してある。関係機関(市役所内の子育て支援課・発達障害支援室・療育機関)とも連携し、子どもの様子を見てもらうケースもある。保護者に支援が必要な場合は、関係機関との連携会議や職員会議を実施し共有化を図り、適切な対応ができるようにしている。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづき職員研修を実施している。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
<p>マニュアルに基づく研修は、年度当初全職員へ園長よりきちんと説明し指導している。事例があった場合には、その都度できるだけ早く、職員間での情報提供や対応の協議をしている。保育者は常日頃、送迎時の保護者の様子や子どもの表情が普段と違う場合は、気にかけることを心がけている。子どもの様子の変化から児童相談所に連絡し、素早い対応ができたケースもある。常日頃関係機関との連携体制を大切にしている。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。

保育所版 第三者評価調査結果報告書
【内容評価基準】

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	職員は月案・週案にて、自らの保育の丁寧な振り返りを行い、クラス会議、職員会議で活動内容やこどもへの関わりや改善について話し合い、共有している。職員は目標・計画を立て、スキルアップを目指し自己研鑽に繋げている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。